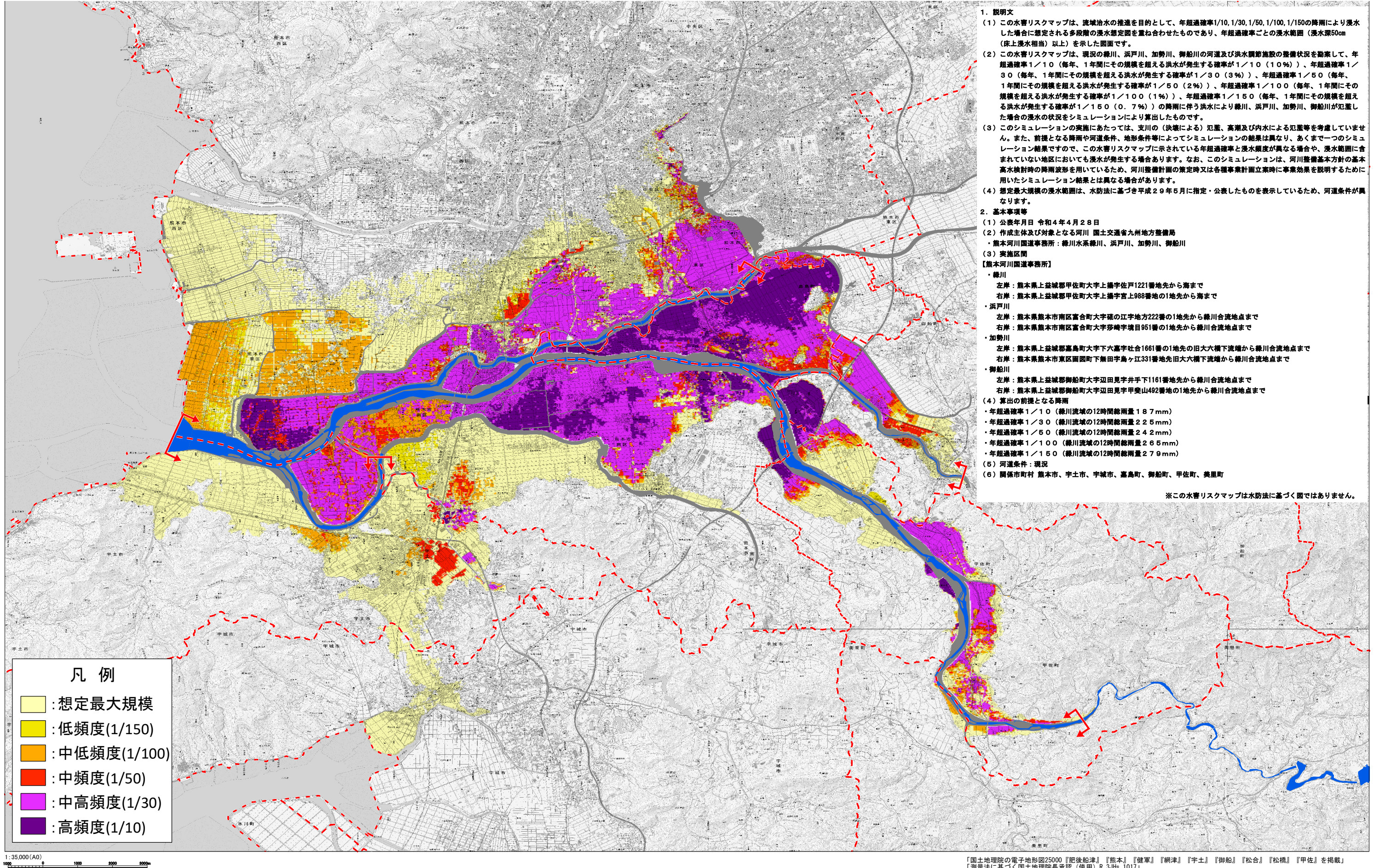


緑川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

【現況河道】

暫定版

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の
浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文
(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。
(2) この水害リスクマップは、現況の緑川、浜戸川、加勢川、御船川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））、年超過確率1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150（0.7%））の降雨に伴う洪水により緑川、浜戸川、加勢川、御船川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
(4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
(1) 公表年月日 令和4年4月28日
(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
・熊本河川国道事務所：緑川水系緑川、浜戸川、加勢川、御船川
(3) 実施区間
【熊本河川国道事務所】
・緑川
左岸：熊本県上益城郡甲佐町大字上揚字佐戸1221番地先から海まで
右岸：熊本県上益城郡甲佐町大字上揚字宮上988番地の1地先から海まで
・浜戸川
左岸：熊本県熊本市南区富合町大字碓の江字地方222番の1地先から緑川合流地点まで
右岸：熊本県熊本市南区富合町大字砂崎字境目951番の1地先から緑川合流地点まで
・加勢川
左岸：熊本県上益城郡嘉島町大字下六嘉字吐合1661番の1地先の旧大六橋下流端から緑川合流地点まで
右岸：熊本県熊本市東区園町下無田字島ヶ江331番地先旧大六橋下流端から緑川合流地点まで
・御船川
左岸：熊本県上益城郡御船町大字辺田見字井手下1161番地先から緑川合流地点まで
右岸：熊本県上益城郡御船町大字辺田見字甲斐山492番地の1地先から緑川合流地点まで
(4) 算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10（緑川流域の12時間総雨量187mm）
・年超過確率1/30（緑川流域の12時間総雨量225mm）
・年超過確率1/50（緑川流域の12時間総雨量242mm）
・年超過確率1/100（緑川流域の12時間総雨量265mm）
・年超過確率1/150（緑川流域の12時間総雨量279mm）
(5) 河道条件：現況
(6) 関係市町村 熊本市、宇土市、宇城市、嘉島町、御船町、甲佐町、美里町

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡 例

- ：想定最大規模
- ：低頻度(1/150)
- ：中低頻度(1/100)
- ：中頻度(1/50)
- ：中高頻度(1/30)
- ：高頻度(1/10)

1:35,000 (A0)
0 1000 2000 3000m

『国土地理院の電子地形図25000『肥後船津』『熊本』『健軍』『網津』『宇土』『御船』『松合』『松橋』『甲佐』を掲載』
「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 1017」